

No	施策名	事務事業の目的	H27決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成28年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成29年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費 内 人件費	担当部課名 評価責任者氏名				
	事務事業名		H28決算額(円)	妥当性評価	有効性評価			
			内 直接事業費 内 人件費	効率性評価				
1	交通基盤の整備	伊勢湾口道路をはじめとして、幹線道路等の渥美半島での必要性の認識を高め、地元・関係機関と相互に協力、調整をとりながら整備の早期実現を図る。	7,859,963	事務事業評価		・広域幹線道路の現状を把握するため、調査・研究としての研修会や現地視察を実施する。 ・関係市町、関係機関、市内関係部署との連携をより密にし、広域幹線道路の早期整備に向けた計画確立が課題。	各種協議会・期成同盟会等により、国・県等に早期整備の要望を行った。	東三河縦貫道路建設促進協議会での渥美半島縦貫道路計画の位置付けを確立するための活動を重点的に行うと共に、その他各種協議会・期成同盟会の活動等により、国・県等への要望活動を行い早期実現を目指す。
	40101010		4,064,204	建設部 建設企画課				
			3,795,759	太田 俊成	極めて高い			
	広域幹線道路整備促進事業		23,035,069	極めて高い				
			5,468,067	極めて高い				
		17,567,002	普通			改善の効果	高い	
2	交通基盤の整備	市民生活や産業活動において重要な都市基盤である市内幹線道路の道路交通における利便性、安全性、快適性等の向上を図るため計画的な整備を行う。	233,468,049	事務事業評価		交通量が多く交通弱者安全確保が急務である1・2級市道において国庫補助を活用しながら集中的・計画的に道路改良を推進する必要がある。また、田原市健康都市プログラムの基本方針「街の健康」の基幹的事業として「楽しく歩ける道づくり」による人の健康を支え、守る効果が期待されている。	3路線の整備路線について集中的に整備進捗を図った結果、新たに歩道を延伸し、一部の供用を開始した。	平成28年度に策定した田原市道路整備プログラムに基づき整備対象路線の優先路線を可能な限り国庫補助を活用し計画的に整備する。
	40102010		205,655,586	建設部 建設企画課				
			27,812,463	太田 俊成	極めて高い			
	幹線道路整備事業		102,602,339	極めて高い				
			80,413,359	極めて高い				
		22,188,980	高い			改善の効果	極めて高い	
3	交通基盤の整備	安全で円滑な交通の確保を図るため、老朽化の著しい橋りょうの改修を行う。	62,123,725	事務事業評価		橋梁点検を行ない策定した橋梁長寿命化修繕計画に基づき老朽橋梁の修繕を推進するが、修繕対象橋梁数も多く計画どおり事業進捗が図れない。	国庫補助を利用して効率的に橋りょう長寿命化修繕を推進した。	老朽化している橋りょうについては、国庫補助を利用し、長寿命化修繕を行うことにより、将来の維持管理コストの削減に努める。
	40102020		52,887,600	建設部 維持管理課				
			9,236,125	大羽 剛志	極めて高い			
	橋りょう整備事業		53,739,158	極めて高い				
			43,233,480	極めて高い				
		10,505,678	高い			改善の効果	極めて高い	
4	交通基盤の整備	愛知県が実施する公共事業に必要な事業用地の円滑な取得を図る。	3,989,842	事務事業評価		事業用地の円滑な取得を図るため県用地課と連携を強化し、交渉期間の短縮を図る。県の用地取得予算の確保が困難であり事業間で調整することで予算執行できるようにする。	事業間の調整等について、県用地課と連携を強化して当初予算分の予算執行ができた。	県用地課との連携を強化することにより事業用地の円滑な取得を図る。県の用地取得予算の確保と事業間での調整がスムーズに執行できるようにする。
	40102030		340,638	建設部 建設企画課				
			3,649,204	太田 俊成	高い			
	事業用地取得事務(国県道)		4,902,162	普通				
			317,116	普通				
		4,585,046	普通			改善の効果	普通	
5	交通基盤の整備	安心・安全な生活環境の改善を図るため、地域からの要望をもとに、緊急性、事業効果等を考慮して必要性の高い生活道路から整備を行う。	231,329,688	事務事業評価		地域からの多くの改良要望需要に対し適切な評価に基づく計画的な対応が必要となっている。また、田原市健康都市プログラムの基本方針「街の健康」の基幹的事業として「楽しく歩ける道づくり」による人の健康を支え、守る効果が期待されている。	有効に財源を活用し、事業進捗を図った。また、人口減少社会や防災・減災など新たな社会事情を鑑み、整備優先順位の評価基準を作成した。	地域からの要望について、整備優先順位の評価基準に基づき優先度を検証し、計画性を高めた投資と効果の早期発見を目標に、予算規模と整合を図った計画立案を行う。
	40103010		216,391,492	建設部 建設企画課				
			14,938,196	太田 俊成	極めて高い			
	道路改良事業		266,506,418	極めて高い				
			237,907,164	極めて高い				
		28,599,254	普通			改善の効果	極めて高い	
6	交通基盤の整備	歩行者・自転車等利用者の安全確保、歩行者・自転車空間の快適性の向上及び円滑な自転車交通の確保を図るため、歩道設置等の交通安全施設整備を行う。	184,385,105	事務事業評価		歩道の未整備路線や自転車通行における事故防止等対策について、自歩道等設置拡幅に重点的な投資が必要である。	・通学路、公共施設周辺の歩道を整備し、供用を開始した。 ・通学路交通安全推進協議会の第1回対策会議を開催し、要対策箇所の取り組み方法の確認をすると共に交通安全プログラムへの位置付けの検討を進めた。	・交通安全プログラムの早期実行により、通学路の安全確保に努める。 ・法改正に伴う自転車乗用環境整備の見直しが進められる中、自転車通学路の整備の必要性を検証することを含め自転車ネットワーク計画策定を推進する。
	40103020		170,618,061	建設部 建設企画課				
			13,767,044	太田 俊成	極めて高い			
	交通安全施設整備事業		111,284,273	極めて高い				
			95,582,802	極めて高い				
		15,701,471	普通			改善の効果	極めて高い	
7	交通基盤の整備	道路交通の安全確保及び快適性の向上を図るため、未舗装道路の舗装新設及び老朽化した道路の舗装改築を行う。	49,842,369	事務事業評価		舗装設計期間10年を大幅に超えた多くの昭和年代築造道路は、交通量にかかわらず経年劣化・老朽化が著しく、大幅な改修を必要とする路線が多くなっている。1級市道は路面性状調査の結果を受け、19路線の舗装改修が必要である。	1級市道の快適性向上に向けて取り組んだ点検・改修計画に基づき、国庫補助を充てて重点的に整備を進めた。	市民アンケートや校区意見交換会からの意見を反映し、生活道路の機能保全や快適性・景観性の向上など、これまでより比重を大きくして取り組む。
	40103030		45,596,520	建設部 建設企画課				
			4,245,849	太田 俊成	極めて高い			
	道路舗装事業		37,374,181	極めて高い				
			35,228,520	極めて高い				
		2,145,661	極めて高い			改善の効果	極めて高い	

No	施策名	事務事業の目的	H27決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成28年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成29年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	担当部課名	評価責任者氏名			
	事務事業名		H28決算額(円)	妥当性評価	有効性評価			
			内 直接事業費	効率性評価				
			内 人件費					
8	交通基盤の整備	安心・安全な生活環境の改善を図るため、道路の排水改良等の局所的な整備を行う。	31,550,236	事務事業評価		排水施設の老朽化に伴う改修や沿道利用途の経年変化に伴う改良など多くの要望が出され期待されている。なお、田原市健康都市プログラムの基本方針「街の健康」の基幹事業として「楽しく歩ける道づくり」による人の健康を支え、守る効果も期待されている。	校区要望に上げられた複数の要改善箇所の実現に取り組んだ。	市民アンケートや校区意見交換会からの意見を反映し、生活道路の機能保全や快適性・景観性の向上など、これまでより比重を大きくして取り組む。
	40103040		27,447,438	建設部 建設企画課				
			4,102,798	太田 俊成				
	道路局部改良事業		9,976,717	極めて高い				
			7,801,920	高い				
		2,174,797	普通				改善の効果	高い
9	交通基盤の整備	災害時の避難及び救急活動に支障をきたす恐れのある道路について、建物の建設時にセットバックした部分を取得して狭隘道路の解消を図る。	7,003,773	事務事業評価		平成25年度に要綱改正をしたことで、迅速に対応できるような事務体制となり、事務の効率性は向上したが、申請件数がそれほど増加していない。	測量士、土地家屋調査士等の関係者に制度の周知を行い、制度活用者の増加に努めた。	引き続き利用者にとって使いやすい事業体制になるよう関係者の声を集め、場合によっては要綱の見直しの検討を行なう。また、引き続き制度の周知を続ける。
	40103050		4,035,044	建設部 維持管理課				
			2,968,729	大羽 剛志				
	狭隘道路解消事業		11,390,359	極めて高い				
			7,905,905	極めて高い				
		3,484,454	普通				改善の効果	高い
10	交通基盤の整備	公有地境界を整理することで行政の管理区域が明確となり、境界付近でのトラブルの解消を図る。	12,982,222	事務事業評価		公共用地と民地との境界を測量し、管理区域を明確化することにより、境界トラブルの解消を図ることを目的としているが、用地測量、登記等に多大な時間が必要である。	公共囀託への測量委託を行うことにより、事務の時間が短縮されたため、住民へ迅速な対応が出来、一定の成果が出ている。	トラブルを未然に防ぐことはもとより、境界トラブルの解消について、より迅速に対応できるような事務体制を検討する。
	40104010		8,313,693	建設部 維持管理課				
			4,668,529	大羽 剛志				
	公有地境界確認事務		13,428,724	高い				
			9,129,776	高い				
		4,298,948	普通				改善の効果	高い
11	交通基盤の整備	道路法において、市道の管理は市が行うと定められており、これに基づいて道路の良好な環境と安全確保に努める。	96,967,558	事務事業評価		常時健全な道路環境を維持するため、老朽化している道路ストックの点検及び計画修繕の実施が課題である。	老朽化している道路照明灯について、照明灯の部分を業者によりLED化し、直接管理からリースへと管理方法を変更することにより電気料金の削減と環境負荷の低減に努めた。	道路ストックの総点検実施及び道路維持修繕計画策定により、要修繕箇所の早期発見、早期対応に努め、健全な道路環境を維持する。道路照明灯のリース化LED化により維持管理コストの軽減と環境負荷の低減に繋げる。
	40104020		74,908,284	建設部 維持管理課				
			22,059,274	大羽 剛志				
	道路管理事務		89,458,002	極めて高い				
			69,065,142	高い				
		20,392,860	高い				改善の効果	高い
12	交通基盤の整備	公共用地の取得や売却等に伴う所有権移転登記等を行い適正な財産管理を図る。	9,704,816	事務事業評価		登記申請に際して、法務局から詳細な資料提出を要求されるため、常日頃から法務局との連携を密にし、業務のスムーズな進捗に努めている。また、専門的知識を要する案件、権利関係等に難題があるような事案については、知識や技術もなくスムーズな対応が出来ないため委託対応が必要である。	法務局との連絡を密にしたことにより登記官との円滑な関係を築くことができ、スムーズな登記申請や補正の対応ができた。	法務局との連絡を更に密にし、業務のスムーズな進捗に努める。また、専門的知識を要する案件、権利関係等に難題があるような案件については、委託をすることで早期解決及び業務の円滑な進捗を図る。
	40104030		61,294	建設部 建設企画課				
			9,643,522	太田 俊成				
	登記事務		7,297,956	高い				
			93,657	普通				
		7,204,299	普通				改善の効果	普通
13	交通基盤の整備	市道及び公共用物(道路敷)の老朽化又は緊急を要する構造物の修繕及び主要幹線道路の草刈り等を実施し、交通の安全性・快適性の向上を図る。	201,644,224	事務事業評価		道路が経年劣化し、損傷箇所が増え、たびたび物損事故が発生している。事故を防ぐために危険箇所の早期発見が必要であるが、担当職員だけでは早期発見は難しい。	危険箇所を早期に発見するため、担当職員以外、道路/パトロール員によるパトロールを実施した。通勤等において、危険箇所が確認された場合の連絡体制を職員に周知した結果、危険箇所が早期に確認できた。	危険箇所の早期発見のため、道路/パトロール員を雇用し、パトロールを強化するとともに関係課及び地元自治会等との連携を図る。
	40104040		172,165,334	建設部 維持管理課				
			29,478,890	大羽 剛志				
	道路維持事業		222,135,770	高い				
			180,132,457	高い				
		42,003,313	普通				改善の効果	高い
14	交通基盤の整備	市道及び公共用物(道路敷)の老朽化又は緊急を要する構造物の修繕及び主要幹線道路の草刈り等を実施し、交通の安全性・快適性の向上を図る。	50,552,629	事務事業評価		危険箇所の早期発見のため、地域住民からの情報提供に対する初動体制の強化と道路/パトロールの効率化が必要である。	市民からの情報や、パトロールで発見した危険箇所の情報を課内で共有し、対策等の進捗状況を可視化するようにした。	集められた危険箇所情報や修繕の実施内容を整理し、今後の施設改善等に利用していく。
	40104060		33,623,811	渥美支所 地域課				
			16,928,818	小久保 順一				
	道路維持事業(渥美支所)		58,328,062	高い				
			46,717,773	高い				
		11,610,289	普通				改善の効果	普通

No	施策名	事務事業の目的	H27決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成28年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成29年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3～5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	担当部課名	評価責任者氏名			
	事務事業名		H28決算額(円)	妥当性評価	有効性評価			
			内 直接事業費	効率的性評価				
			内 人件費					
15	交通基盤の整備	交通の混雑を解消し、交通安全を推進し、沿道利用を高めることにより、快適な都市環境の創造を目指す。	7,278,441	事務事業評価		愛知県施行の街路事業との調整等を行い、市街地における円滑な交通の確保を行う必要がある。	愛知県施行の(都)田原中央線事業との連携により、連続照明灯の整備を行った。	引き続き愛知県施行の街路事業との調整等を行い、市街地における円滑な交通の確保を行う。
	40105010		5,072,760	都市整備部 街づくり推進課				
	街路整備事業		2,205,681	鈴木 洋充	普通			
			16,233,988	普通				
			15,810,120	高い				
	423,868	普通						
						改善の効果	普通	
16	交通基盤の整備	渥美半島の重要な交通結節点としての機能を有する三河田原駅周辺において、自動車交通の円滑化を図り、魅力ある田原市の玄関口とするため、道路整備、都市機能と景観を兼ね備えた駅前広場整備、駅南地区をはじめとする周辺地域の住環境整備を行う。	79,861,145	事務事業評価		平成25年度までに市道田原駅前通り線と市道田原駅南線は供用開始されており、平成26年度に鉄道移設、平成27年度にNTT地下ケーブルの移転及び平成28年度に建物移転補償が完了した。	建物移転補償について被補償者の移転が完了したため、事業用地の取得を行った。	平成28年度に駅前広場事業用地、道路事業用地を取得したことにより、残事業用地部分の整備を進め、平成29年度の事業完了を目指す。
	40106030		77,067,452	都市整備部 街づくり推進課				
	田原駅周辺整備事業		2,793,693	鈴木 洋充	高い			
			119,549,065	高い				
			113,292,938	高い				
	6,256,127	普通						
						改善の効果	高い	
17	交通基盤の整備	市営公共駐車場が便利かつ安全に利用できるように運営、維持管理し、コンパクトシティの実現、中心市街地の活性化に寄与するものとする。	28,244,515	事務事業評価		・幅広い方に便利かつ安全に利用していただくため、PRが必要である。 ・田原駅公共駐輪場の場外に駐輪する利用者があるため、自転車の整理整頓や安全に利用していただくための指導の徹底が必要である。	・駐輪場外に駐輪する利用者への注意喚起等の実施や放置自転車を定期的に撤去したが、場外駐輪が思うように減少しなかった。	・平成29年度内に駐輪場を増設する。 (中心市街地活性化推進事業にて)
	40106050		23,882,882	都市整備部 街づくり推進課				
	公共駐車場管理運営事業		4,361,633	鈴木 洋充	高い			
			25,366,332	高い				
			21,273,181	高い				
	4,093,151	普通						
						改善の効果	低い	
18	公共交通の整備	都市機能として、集落部と市街地及び市街地内における市民等の移動手段を確保するため、路線バスの補充路線としてコミュニティバスを運行する。	81,509,903	事務事業評価		・H27年10月の校区単位での再編実施において、委託料が増加、利用人数の減少が生じた。 ・バス車両が老朽化しており、更新が必要な時期に来ている。	・平成27年度の再編から生じた課題解決及び経費節減のため、平成29年4月から運行内容の変更を実施した。	・コミュニティバスの運行内容について、費用対効果や効率性を踏まえて、地域と協働で抜本的な見直しを含めて協議し、変更を実施していく。
	40201010		76,870,642	都市整備部 街づくり推進課				
	ぐるりんバス運行事業		4,639,261	鈴木 洋充	高い			
			21,413,050	高い				
			19,756,251	高い				
	1,656,799	普通						
						改善の効果	高い	
19	公共交通の整備	市民等の移動手段を確保するため、市内公共交通の基幹路線である路線バス(伊良湖本線・支線)の運行を支援する。	38,721,694	事務事業評価		・路線バス利用者の減や、路線バス運行経費に係る国庫補助金額の見直し等により田原市の持ち出し金額が増加している。	・中高生向けパンフレット、公共交通ガイドブックの作成・配布等の実施。 ・野田バス停、萱町ポケットパークの整備を実施。 ・路線バス運行経費の補助の実施。	・運行事業者と協働で利用促進事業を実施し、利用人数の維持・増加を図りながら、運行確保を図る。
	40201020		37,802,370	都市整備部 街づくり推進課				
	地方バス路線支援事業		919,324	鈴木 洋充	高い			
			38,731,119	高い				
			37,009,030	高い				
	1,722,089	普通						
						改善の効果	高い	
20	公共交通の整備	だれもが安心して移動できるまちを実現するため、関係者との連携により、市内公共交通の充実を図る。	82,817,269	事務事業評価		・H27年10月の校区単位での再編実施において、委託料が増加、利用人数の減少が生じた。	・平成27年度の再編から生じた課題解決及び経費節減のため、平成29年4月から運行内容の変更を実施した。	・コミュニティバスの運行内容について、費用対効果や効率性を踏まえて、地域と協働で抜本的な見直しを含めて協議し、変更を実施していく。
	40201030		69,352,345	都市整備部 街づくり推進課				
	公共交通推進事業		13,464,924	鈴木 洋充	高い			
			146,415,514	高い				
			130,972,472	高い				
	15,443,042	普通						
						改善の効果	高い	
21	港湾・河川・海岸の整備	泉港の維持管理を委託し、良好な港湾環境を保つとともに、緊急時の対応、トラブル防止等に努める。	3,556,901	事務事業評価		利用者が安心して安全な使用ができる港湾を目指し、適正な維持管理が必要である。	草刈り、施設の清掃・巡視、漁船とプレジャーボート等の区分けを継続実施し、適正な維持管理を図った。	利用者が安心して安全な使用ができる港湾を目指し、適正な維持管理を行う。
	40301010		3,177,676	建設部 維持管理課				
	泉港管理事業		379,225	大羽 剛志	普通			
			4,843,470	普通				
			3,177,676	普通				
	1,665,794	普通						
						改善の効果	普通	

No	施策名	事務事業の目的	H27決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成28年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成29年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	担当部課名				
	事務事業名		H28決算額(円)	評価責任者氏名				
内 直接事業費		妥当性評価						
				有効性評価				
				効率性評価				
22	港湾・河川・海岸の整備	小型船舶係留施設の維持管理を委託し、係留施設の良好な環境を保つとともに、緊急時の対応、トラブル防止等に努める。	748,370	事務事業評価		利用者が安心して安全な使用ができる施設を目指し、適正な維持管理が必要である。	草刈り、施設の清掃・巡視を行い、施設の適正な維持管理を図った。	利用者が安心して安全な使用ができる施設を目指し、適正な維持管理を行う。
	40301020		571,744	建設部 維持管理課				
	小型船舶係留施設管理業務		176,626	大羽 剛志				
			1,774,818	普通				
			571,744	普通				
		1,203,074	普通	改善の効果		普通		
23	港湾・河川・海岸の整備	港湾は、市民と海との貴重な接点となっており、近年のマリンレジャー等に対するニーズの高まりから市民に親しまれる開かれた港湾施設の適正な管理を図る。	9,188,064	事務事業評価		良好な港湾施設の維持管理のため、港湾維持修繕計画に基づく計画修繕の確実な実施。また、災害時に樋門操作を迅速に行なう体制作りが課題である。	港湾施設の良好な施設管理を行うことができた。また、樋門操作マニュアルを活用し、適切な管理体制、災害時に迅速な対応ができるよう努めた。	港湾維持修繕計画に基づき、老朽化した港湾施設の維持管理を行うとともに、港湾利用者が快適に施設を利用できるよう努める。また、樋門操作については引き続き、職員と委託者との連携を密にし、災害時に迅速な対応ができるよう努める。
	40301040		5,329,823	建設部 維持管理課				
	港湾管理事業		3,858,241	大羽 剛志				
			14,031,880	高い				
			9,351,865	高い				
		4,680,015	普通	改善の効果		高い		
24	港湾・河川・海岸の整備	排水能力不足による水害の発生を防ぐため、住民の生命・財産を守るうえで重要な河川を優先して整備する。	49,030,757	事務事業評価		多くの準用河川は断面容量が足りておらず、近年のゲリラ豪雨や大型台風による被害発生など整備の必要性は非常に高くなっている。	水害予防の取り組みとして1河川の改修計画検討を進めた。また、老朽河川の改修と共に断面不足の解消を図るため、1河川の改修に取り組んだ。	主要地方道との交差河川について愛知県整備に連動して整備を進めるとともに、治水・防災対策としての河川改良を計画し事業推進する。なお、河川の計画的な整備実施に向けた基礎的データ整理を進め、今後の整備方針の確立に向けて取り組む。
	40302010		41,377,694	建設部 建設企画課				
	河川改良事業		7,653,063	太田 俊成				
			17,658,666	極めて高い				
			14,118,720	高い				
		3,539,946	普通	改善の効果		極めて高い		
25	港湾・河川・海岸の整備	大雨等による災害を未然に防ぐため、土水路及び断面不足の水路を新設及び改良することにより、排水機能の向上を図る。	38,542,910	事務事業評価		地域の要望を基に現場の状況を確認し的確な対策を講じる必要がある。	地域からの要望に応え、懸案の冠水被害の抜本的な改善対策の検討を進めると共に、小規模施設整備を推進し排水機能の改善に努めた。	台風などによる過去の被害箇所や地域からの要望を検証し、緊急度及び必要性の高い水害防止対策を推進する。なお、水路の計画的な整備実施に向けた基礎的データ整理を進め、今後の整備方針の確立に向けて取り組む。
	40302020		32,504,230	建設部 建設企画課				
	水路改良事業		6,038,680	太田 俊成				
			55,875,973	極めて高い				
			42,125,885	高い				
		13,750,088	普通	改善の効果		極めて高い		
26	港湾・河川・海岸の整備	洪水、高潮等による水害を防止して河川が適正に利用され、流水の正常な機能を維持し、河川環境の整備と保全がされるようにこれを総合的に管理する。	6,437,285	事務事業評価		災害時に樋門操作を迅速に行なう体制作りが課題である。	樋門操作マニュアルを活用し、適切な管理体制、災害時に迅速な対応ができるよう努めた。	樋門操作については引き続き、職員と委託者との連携を密にし、災害時に迅速な対応ができるよう努める。
	40303010		4,764,178	建設部 維持管理課				
	河川管理事務		1,673,107	大羽 剛志				
			55,837,993	高い				
			53,571,836	高い				
		2,266,157	高い	改善の効果		高い		
27	港湾・河川・海岸の整備	市管理河川及び排水路の護岸や法面等の修繕及び堆積した土砂の浚渫又は草刈り等を行い、災害を未然に防ぐとともに、河川環境の保全を図る。	43,839,606	事務事業評価		河川・排水路が経年劣化し、損傷箇所が増え、大雨時に浸水等の被害が発生している。被害を防ぐために危険箇所の早期発見が必要であるが、担当職員だけでは早期発見は難しい。	修繕箇所を早期に発見するため、担当職員以外、雨天時に道路維持囃託員による河川パトロールを実施した。通勤等において、危険箇所が確認された場合の連絡体制を職員に周知した結果、危険箇所が早期に確認できた。	危険箇所の早期発見のため、河川パトロールを継続実施すると共に効率的な修繕のため、関係課及び地元自治会等との連携を図る。
	40303020		35,106,120	建設部 維持管理課				
	河川維持事業		8,733,486	大羽 剛志				
			34,492,210	高い				
			27,978,732	高い				
		6,513,478	普通	改善の効果		高い		
28	港湾・河川・海岸の整備	市管理河川及び排水路の護岸や法面等の修繕及び堆積した土砂の浚渫又は草刈り等を行い、災害を未然に防ぐとともに、河川環境の保全を図る。	25,371,584	事務事業評価		危険箇所の早期発見のため、地域住民からの情報提供に対する初動体制の強化と道路パトロールの効率化が必要である。	市民からの情報や、パトロールで発見した危険箇所の情報を課内で共有し、対策等の進捗状況を可視化するようにした。	集められた危険箇所情報や修繕の実施内容を整理し、今後の施設改善等に利用していく。
	40303040		18,856,098	渥美支所 地域課				
	河川維持事業(渥美支所)		6,515,486	小久保 順一				
			26,723,759	高い				
			20,916,360	高い				
		5,807,399	普通	改善の効果		普通		

No	施策名	事務事業の目的	H27決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成28年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成29年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	担当部課名				
	事務事業名		内 人件費	評価責任者氏名				
			H28決算額(円)	妥当性評価				
				有効性評価				
				効率性評価				
29	港湾・河川・海岸の整備	津波、高潮などによる被害を防止するために樋門等の操作を地元と協力して行うとともに、海岸環境の整備保全に努め海岸の適正な利用が行われるように総合的に管理する。	8,508,084	事務事業評価		災害時に樋門操作を迅速に行なう体制作りが課題である。また、赤羽根ロコパークの利用者が快適に利用できるよう適正な維持管理が必要である。	樋門操作については引き続き、職員と委託者との連携を密にし、災害時に迅速な対応ができるよう努める。竣工して10年が経つ赤羽根ロコパークについては管理体制を見直し、適正かつ効率的な維持管理を行う。	
	40304010		4,750,688	建設部 維持管理課				
	海岸管理事業		3,757,396	大羽 剛志				
			9,022,049	高い				
			5,544,538	高い				
		3,477,511	高い		改善の効果	高い		
30	市街地の整備	田原市街地について、田原市の顔としてふさわしい市街地整備を市民と協働で進め、魅力の向上及び活性化を図る。	77,760,940	事務事業評価		田原市中心市街地活性化基本計画に基づき平成28年度より、5か年計画で市街地整備等の事業を開始した。円滑に事業を進めることにより「生活の拠点」「田原市の玄関口」としての機能再生を図る必要がある。	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)の活用により、ウォーキングトレイル整備事業等を実施した。 ・市街地整備事業の核となる三河田原駅前工場跡地活用事業について、(株)あつまるタウン田原との共同により基本設計を行うとともに用地取得を行った。	
	40402010		68,909,027	都市整備部 街づくり推進課				
	田原地区まちづくり事業		8,851,913	鈴木 洋充				
			792,670,079	高い				
			773,876,379	高い				
		18,793,700	普通		改善の効果	高い		
31	市街地の整備	赤羽根市街地及びその周辺において、地域の特色を生かしたまちづくりの検討・整備を市民と協働で実施することにより、市街地の魅力の向上及び活性化を図る。	1,643,719	事務事業評価		赤羽根地区まちづくりビジョンの実現に向け、地域の赤羽根地区まちづくり推進委員会を主体としてまちづくり事業を進める必要がある。	赤羽根地区まちづくり推進委員会の各部会にて各種検討を行い、都市施設・ネットワーク部会における公園広場の利用形態等の検討結果に基づいて、利用状況の増進を図る目的で遊具設置工事を実施した。	
	40402020		43,946	都市整備部 街づくり推進課				
	赤羽根地区まちづくり事業		1,599,773	鈴木 洋充				
			7,037,498	高い				
			4,935,600	高い				
		2,101,898	普通		改善の効果	高い		
32	市街地の整備	福江市街地について、地域の特色を生かしたまちづくりの検討・整備を市民と協働で実施することにより、市街地の魅力の向上及び活性化を図る。	301,229,341	事務事業評価		平成26年度より、5か年計画で福江・清田地区の都市再生整備計画を立ち上げ、市街地整備を完了した(H29より全面供用開始)。また、散策路として福江まちなかWALKの整備を実施した。	平成30年度が5か年計画の最終年となり、残りの散策路整備等について、各路線のニーズに合わせた整備を行って、事業の完了を図る。	
	40402030		295,256,493	都市整備部 街づくり推進課				
	福江地区まちづくり事業		5,972,848	鈴木 洋充				
			104,529,171	高い				
			100,121,700	高い				
		4,407,471	普通		改善の効果	高い		
33	市街地の整備	浦町、片浜町区内で進められている田原浦片土地区画整理事業について、市民協働によるまちづくりの理念の下、施行者の田原浦片土地区画整理組合に対し運営指導、事業支援を行うとともに、関連道路、水路及び地区内公園等の整備を行う。	82,448,101	事務事業評価		事業地については保留地購入者等の家屋建築が進み、住宅地として着実に形成しつつあるため、公園整備等を計画的に行い、住みよい生活環境を提供する必要がある。	区域内の浦片2号公園、浦片3号公園及び浦片4号公園が完成し供用を開始した。	
	40403020		78,902,102	都市整備部 街づくり推進課				
	浦片地区土地区画整理関連事業		3,545,999	鈴木 洋充				
			129,253,873	高い				
			124,868,300	高い				
		4,385,573	普通		改善の効果	普通		
34	市街地の整備	市民協働による市街化区域の都市基盤の形成に向けて、土地区画整理事業を促進するため、田原市組合施行土地区画整理事業助成方針(助成方針)に基づき、現在施行中の浦片地区の健全な組合運営、計画中の赤羽根地区の組合設立準備に対し支援を行う。	5,884,442	事務事業評価		浦片地区については、住宅用地は平成27年度に完売し、企業用地は11区画中、残り7区画となっている。組合の解散に向けて企業用地の販売が課題である。 ・赤羽根地区については、組合設立に向けた事業の円滑な実施のため、引き続き各種支援を行う必要がある。	企業立地推進室が行う企業誘致活動で企業用地のPR活動を行い、また組合役員と地元企業を直接訪問し営業活動を行った。 ・赤羽根地区の事業化に向け、発起人会とともに地元説明会や地権者訪問を行い、計画変更への賛同を得たため、事業計画の再検討を行い計画を固めた。	
	40403030		88,056	都市整備部 街づくり推進課				
	土地区画整理組合支援事業		5,796,386	鈴木 洋充				
			22,841,267	高い				
			12,109,271	高い				
		10,731,996	高い		改善の効果	高い		
35	地域・住環境の整備	農村の総合的な振興を図るため、農業生産基盤の整備を行う。また、これと関連をもつ農村の基礎的な生活環境の整備を総合的に実施し、活力と個性のある地域づくりを目指すため、道路、排水路、防災施設及び自然環境・生態系保全施設整備等を行う。	138,177,670	事務事業評価		地域住民にとって、かけがえのない豊かな自然を保全しながら、農業者及び農村居住者にとって住みよい居住環境への改善を図る必要がある。	東部地区において、地元推進協議会を開催し、工事優先順位を決め、実施年度を明示することにより、地権者や関係者の理解を深めた。また、別財源を確保することにより、一部事業を推進することができた。	
	40501010		114,553,640	産業振興部 農政課				
	農村振興総合整備事業(40501010,40501014)		23,624,030	鈴木 隆広				
			84,351,063	高い				
			72,493,049	高い				
		11,858,014	普通		改善の効果	高い		

No	施策名	事務事業の目的	H27決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成28年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成29年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費 内 人件費	担当部課名 評価責任者氏名				
	事務事業名		H28決算額(円)	事務事業評価				
			内 直接事業費 内 人件費	有効性評価 効率性評価				
36	地域・住環境の整備	田原市東部太平洋岸総合整備促進協議会の事業運営を支援し、海岸侵食対策、自然環境の保全と活用、農地の基盤整備、農村環境の改善など、関係地域の総合的な課題解決を図る。	4,998,492	事務事業評価		・表浜自然ふれあいフェスティバルの開催支援、県への要望活動、谷ノ口総合整備促進協議会の活動支援を行なっている。 ・海岸整備促進につながる効果的な手法を検討する必要がある。	・田原市東部太平洋岸地域整備基本計画アクションプランを策定した。 ・情報誌「潮騒」を発行、県への要望活動、谷ノ口公園のPR、表浜自然ふれあいフェスティバルを開催し、海岸侵食が進む表浜の現状と自然の魅力をPRし、関係者の理解を得て整備促進を図った。	・アクションプランに沿って、東部太平洋岸地域のつながりを深め、協議会と行政が一体となり継続して県への要望活動を行い整備促進を図る。 ・表浜自然ふれあいフェスティバルのあり方を検証し、リニューアルを図る。 ・平成29年4月に供用を開始した谷ノ口公園の活用促進のため、今後フェスティバルの開催拠点とする。
	40502010		750,000	企画部 企画課				
	東部太平洋岸総合整備促進事業		4,248,492	大羽 浩和	高い			
			450,000	普通				
			5,878,441	普通			改善の効果	普通
37	地域・住環境の整備	少子高齢化・人口減少社会に対応した居住環境の整備を図るとともに、公的宅地の供給や空き家・空き地バンク制度の活用による市内への定住を誘導し、安全で住みやすいまちづくりを進める。	17,068,632	事務事業評価		市内に空き家が多数存在する現状に対し、住居、住居用土地を求めるとともに、空き家空き地バンク制度に利用登録を促しているが、利用登録に対し、物件登録が少ない。	・ホームページや広告媒体を利用して制度の周知、利用啓発を実施した。空き家の所有者に対し、制度を理解いただき登録件数を増加させた。 ・田原市住生活基本計画を策定した。	・効果的な周知方法の検討を行い、本制度を有効活用してもらえるよう啓発していく。物件所有者に制度の周知や登録を推進していく。 ・平成30年度空き家対策計画を策定する。
	40503010		11,322,960	都市整備部 建築課				
	居住環境整備推進事業		5,745,672	稲垣 守泰	高い			
			4,809,138	普通				
			6,930,671	普通			改善の効果	高い
38	地域・住環境の整備	・住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な市営住宅を供給し、市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与する。 ・特定公共賃貸住宅、若者向け住宅など良質な賃貸住宅を求めるとともに、中堅所得者層に住宅を供給し、市民生活の向上を図る。 ・市営住宅の入居者の居住の安定と水準の向上を図る。	238,340,583	事務事業評価		家賃滞納者について、滞納者・同居者の納期限内の納付意識が低いこと。	督促状による通知、戸別訪問、電話、文書による催告を実施し、高額滞納者に対しては納付指導を強化して滞納額縮減に努めた。	督促状による通知、また滞納者への戸別訪問、電話、文書による催告を実施し滞納額縮減に努める。悪質滞納者へは法的措置も視野に入れた納付指導を継続して実施していく。
	40503020		202,284,042	都市整備部 建築課				
	市営住宅管理事業		36,056,541	稲垣 守泰	高い			
			134,674,280	普通				
			31,742,946	普通			改善の効果	高い
39	地域・住環境の整備	老朽化の著しい高木住宅の建替整備を行うことにより、低額所得者の居住に関するセーフティネットとして住環境の安定確保を図る。	3,131,127	事務事業評価		建設場所について、入居者(特に高齢者)の利便性の向上を考慮し、清田校区内での建替えを検討する。	地元の清田校区、自治会との調整を実施した。現在も継続中。	市街化区域内で建設用地を確保し、建設を促進する。
	40503040		1,895,400	都市整備部 建築課				
	高木住宅整備事業		1,235,727	稲垣 守泰	高い			
			0	高い				
			1,858,704	普通			改善の効果	普通
40	地域・住環境の整備	田原市人にやさしい街づくり推進計画に沿って、高齢者及び障害を持つ人を含む全ての人にやさしい、バリアフリーの街づくりを推進することにより、超高齢化社会の安心・安全なまちづくりを目指す。	91,984,211	事務事業評価		公共施設のバリアフリー化は現在FMの計画を検討しながら進めている。 市民のバリアフリーについての意識は高齢化に伴って向上していると思われるが、まだ、充分ではない。	中心市街地活性化基本計画及び人にやさしい街づくり推進計画に基づき、道路の改善・整備の設計を行なった。 バリアフリー意識の向上のため5市連携人にやさしい街づくり講座及びセミナーを開催した。(豊川)	中心市街地活性化基本計画のバリアフリー化推進事業により道路の改善・整備を実施していく。公共施設の人にやさしい街づくり整備工事(トイレ改修等)を実施していく。 5市連携人にやさしい街づくり講座及びセミナーへ参加する。 人にやさしい街づくり推進計画を改訂する。
	40504010		88,869,400	都市整備部 建築課				
	バリアフリー化推進事業		3,114,811	稲垣 守泰	普通			
			2,234,111	普通				
			1,746,924	普通			改善の効果	普通
41	上下水道の整備	給水装置の新設及び改良に伴う配水管の新設及び改良工事の施工に対し、材料を支給することにより水道施設の充実を図る。	5,130,680	事務事業評価		水道新規加入等に伴い、配水管工事を必要とする場合には、本管材料を支給し、水道施設の充実を図る。	水道施設の充実を図るため水道新規加入者等が行う配水管工事に対し材料支給を実施した。	水道施設の充実を図るため、今後も本管材料の支給を行う。
	40601010		1,536,261	水道部 水道課				
	水道整備推進事業		3,594,419	石原 恭次	高い			
			5,308,160	高い				
			1,306,621	高い			改善の効果	普通
			4,001,539	普通			改善の効果	普通
42	上下水道の整備	水道施設の維持、管理により安心、安全な水道水を安定的に供給する。	761,156,026	事務事業評価		水道施設の保守点検管理、水質検査を実施して、安全な水の安定供給を行う。 施設管理等の効率化を図るとともに、漏水に対して早期発見、修繕を行い有収率の向上を図る必要がある。	配水管等の漏水調査を実施し、漏水箇所の修繕を実施した。	施設管理等の一部業務委託を行うとともに、老朽管の改修・漏水調査の実施・漏水管の早期改修を実施し、有収率向上に向けた事業に引き続き取り組んでいく。
	40601020		737,197,268	水道部 水道課				
	水道施設管理事業(40601020,40601050)		23,958,758	石原 恭次	極めて高い			
			756,385,824	極めて高い				
			737,295,526	高い			改善の効果	高い
			19,090,298	普通			改善の効果	高い

No	施策名	事務事業の目的	H27決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成28年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成29年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費 内 人件費	担当部課名 評価責任者氏名				
	事務事業名		H28決算額(円)	事務事業評価				
			内 直接事業費 内 人件費	有効性評価 効率性評価				
43	上下水道の整備	公共的団体が行う新設の配水管整備において、負担金を受けて市が施工することによって、施設の信頼性を高め適正管理につなげる。	237,433	事務事業評価		臨海企業団地や宅地造成事業区域等での配水管整備を図るとともに、計画に対する連絡調整を行う。	関係機関との連携に基づく事業の実施。	新規事業等に対して関係機関との連絡調整等を引き続き図る。
	40601030		0	水道部 水道課				
	配水管敷設整備事業		237,433	石原 恭次				
			137,290	高い				
			8,440	高い				
			128,850	普通			改善の効果	高い
44	上下水道の整備	安心、安全な水道水を安定的に供給するため、老朽管等の更新を図る。	781,068,031	事務事業評価		水道事業基本計画に従い基幹管路の耐震化及び施設、老朽管の更新を図るとともに、公共下水道事業、農業集落排水事業との同時施工による工事の効率化及びコストの削減を実施した。	水道事業基本計画に従い中央監視盤、遠方監視施設の更新や、基幹管路の耐震化及び老朽管の更新を行うとともに、公共下水道事業、農業集落排水事業との同時施工による工事の効率化及びコストの削減を実施した。	引き続き工事の効率化やコストの削減を図るとともに、水道事業基本計画を基に、施設の耐震化・更新・改良・統廃合等を進め、更新管路についても耐震化、ダウンサイジングを図りつつ、地区及び市全域での管路の整備を進める。
	40601040		759,531,966	水道部 水道課				
	配水管改良整備事業		21,536,065	石原 恭次				
			846,097,866	高い				
			823,679,246	高い				
			22,418,620	普通			改善の効果	高い
45	上下水道の整備	緊急水源井戸の保守点検及び水質検査等施設の維持管理を行い異常湧水時の飲料水確保及び地震等災害時の家庭用雑用水確保を図る。	8,025,723	事務事業評価		・非常時における飲料水等確保のため、緊急水源の維持管理を行う。 ・湧水時等における速やかな緊急対応の実施を図る。	適正な維持管理を行うとともに、湧水時において緊急水源として活用できるように施設の整備点検等を行った。	引き続き適正な維持管理を実施していく。
	40601060		1,994,062	水道部 水道課				
	緊急水源井戸維持管理事業		6,031,661	石原 恭次				
			5,564,107	高い				
			1,879,846	高い				
			3,684,261	普通			改善の効果	普通
46	上下水道の整備	事業運営に必要な費用を水道利用者から徴収し、水道事業の安定経営を図る。	86,806,143	事務事業評価		給水人口や使用量の減少、老朽化した設備更新など事業運営が厳しくなる中、収納率の向上及び業務の効率化を図る。	滞納者の常習化を防ぐ対策として給水停止までの期間を短縮することで収納率が向上した。また、水道会計システムの更新に伴い、クラウド化することで、セキュリティ面を強化するとともに、バックアップ業務が不要となり、事務の効率化を進めることができた。	実行性のある水道事業経営戦略を策定し実施する。業務の民間委託等を検討するなど、業務の効率化について取り組む。
	40602010		44,458,543	水道部 水道課				
	水道経営事務		42,347,600	石原 恭次				
			77,463,364	高い				
			39,221,894	高い				
			38,241,470	高い			改善の効果	普通
47	上下水道の整備	安定した水道水確保のため、水道料金の一部を活用して水源林の保全を図る。	7,794,350	事務事業評価		水源林を確保するため、森林づくり事業、間伐事業に豊川水源基金に負担金を拠出する。	負担金を拠出し、良好な水源林の確保を図った。	水源林の必要性について啓発、森林づくり、間伐事業の推進を図る。
	40602020		7,768,895	水道部 水道課				
	水源林保全流域協働事業		25,455	石原 恭次				
			7,658,479	極めて高い				
			7,650,139	高い				
			8,340	普通			改善の効果	普通
48	上下水道の整備	市街地等の住環境の整備とともに公共用水域の水質改善を図るため、田原処理区の下水道施設整備区域の拡大等事業推進を図る。	725,443,217	事務事業評価		・田原浄化センター及び田原中継ポンプ場の改築工事を行い、高度処理化・長寿命化を図る。 ・長沢・山田地区の管路整備を行い、供用開始面積の拡充を図る。 ・舗装本復旧の未施工箇所があるため、早期の完了を図る必要がある。 ・新規加入者に対するの公共ます設置	・田原中継ポンプ場の長寿命化工事を行った。 ・集落排水片浜地区の公共下水道への統合を図った。 ・長沢地区、山田地区の管路整備を行い、供用開始面積の拡大を図った。 ・新規加入者の申請に基づき公共ます設置	・田原浄化センター及び田原中継ポンプ場の改築・耐震工事を行い、高度処理化、長寿命化及び耐地震対策を行う。 ・集落排水浦・吉胡・波瀬地区の公共下水道への統合を図る。 ・山田地区の舗装復旧を完了し、伊良湖処理区の整備に着手する。 ・新規加入者の公共ます設置工事を実施する。
	40603030		701,526,771	水道部 下水道課				
	汚水処理施設整備事業		23,916,446	杉原 雅彦				
			506,219,496	極めて高い				
			487,073,500	極めて高い				
			19,145,996	極めて高い			改善の効果	極めて高い
49	上下水道の整備	市街地の雨水を排除し浸水被害の防除を図るため、雨水ポンプ場、雨水幹線、雨水貯留施設等の雨水施設の整備を行う。	75,976,715	事務事業評価		・東大浜排水区、東大浜第2排水区、東部排水区、安原崎排水区は整備を完了し、中部排水区における整備を推進していく。 ・施設の老朽化対策として、長寿命化計画による各ポンプ場の改築・更新を行う。 ・施設の耐震化(地震対策)を行う。 ・渥美排水区域の雨水排水整備を推進していく。	・施設の耐震化(地震対策)の実設計を行い、工事実施に向けての取組を行った。	・施設の延命化・防災対策として、長寿命化計画、耐震化(地震対策)計画に基づき、施設の改築・更新を実施していく。
	40603080		72,450,760	水道部 下水道課				
	雨水排水施設整備事業		3,525,955	杉原 雅彦				
			37,238,261	極めて高い				
			34,450,000	極めて高い				
			2,788,261	極めて高い			改善の効果	極めて高い

No	施策名	事務事業の目的	H27決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成28年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成29年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	担当部課名	評価責任者氏名			
	事務事業名		H28決算額(円)	妥当性評価	有効性評価			
			内 直接事業費	効率性評価				
			内 人件費					
50	上下水道の整備	公衆衛生の向上と水質保全を図るため、夕陽が浜汚水処理施設の維持管理を行う。	6,805,566	事務事業評価		宅地分譲が計画通りに進んでおらず、下水道使用料の増収が望める状況ではない。また、施設の老朽化による機器の更新及び改良が必要である。	設備機器の計画的な維持管理を実施し、施設の機能を保持できた。	機器等の老朽化が進んでいるため、計画的に修繕・工事を行い、公共下水道への統合も検討し、維持管理経費の削減を図る。また、夕陽が浜宅地分譲の推進を建築課へ依頼する。
	40604010		5,368,826	水道部 下水道課				
			1,436,740	杉原 雅彦	極めて高い			
	夕陽が浜汚水処理施設維持管理事業		5,371,367		高い			
			4,403,224		高い			
			968,143				改善の効果	高い
51	上下水道の整備	・排水設備等資金の融資のあっせん及び利子補給を行うことにより、公共下水道への接続推進を図る。 ・公共下水道への接続で不用となる浄化槽を雨水貯留施設に転用する費用を補助することにより、水資源の有効活用や公共下水道の普及促進に寄与する。	50,971	事務事業評価		浄化槽が汚水を処理する施設であることから、洗浄しているとはいえ、そこに貯めた水を使うことに対して施主にとっては抵抗がある。また、浄化槽を転用して雨水貯留施設を設けたいと考えるほど庭面積が大きくない家庭も多く、新規の申し込みが少ない。	新規供用開始対象者に制度の案内をし、利用の促進を図った。また、指定工事店にも制度について、接続時に制度の紹介をするよう依頼した。	市民へ広報やホームページ等により制度の周知を行い、浄化槽から転用した雨水貯留施設に対する抵抗感の払拭を図る。
	40604030		2,715	水道部 下水道課				
			48,256	杉原 雅彦	普通			
	雨水貯留施設等整備支援事業(公共下水)		103,671		普通			
			7,978		普通			
			95,693				改善の効果	普通
52	上下水道の整備	公共下水道事業の適正かつ健全な運営を行う。	73,046,225	事務事業評価		負担金等や使用料の賦課徴収、排水設備の確認、決算統計、消費税申告等の経常的な業務であり、限られた人員で効率的に実施する必要がある。また、法令改正や社会情勢の変化を踏まえ、今後の下水道事業の経営方針や、汚泥の処理方針を定めていく必要がある。	将来の公営企業法の適用のため、地方公営企業法適化支援業務を実施した。	地方公営企業法を適用させ、経営内容を明確化することにより、事業経営の健全性を確保し、経営基盤の強化を図る。
	40604040		56,728,726	水道部 下水道課				
			16,317,499	杉原 雅彦	高い			
	公共下水道運営事業		54,836,100		高い			
			38,514,665		高い			
			16,321,435				改善の効果	高い
53	上下水道の整備	雨水の適正な排除を行うため、雨水ポンプ場及び雨水排水路等の維持管理を行う。	57,548,393	事務事業評価		施設の老朽化による機器の更新及び改良が必要である。 ・機器の計画的な更新改良により、機器の延命化を図り、施設の機能を維持していく必要がある。 ・降雨時の速やかな対応が必要である。	設備機器の計画的な維持管理を実施し、施設の機能を保持した。	施設の老朽化が進む中、計画的な整備機器の更新改良が必要である。また、設備機器の延命化を図り、施設の機能を維持し、適正な管理に努め、機器の故障等による事故及び浸水による被害を未然に防ぐ。
	40604060		52,849,364	水道部 下水道課				
			4,699,029	杉原 雅彦	極めて高い			
	雨水排水施設維持管理事業		59,477,136		高い			
			54,969,132		高い			
			4,508,004				改善の効果	普通
54	上下水道の整備	生活環境の向上や公共用水域の水質保全を図るため、下水道施設の適正な維持管理を行う。	251,505,878	事務事業評価		恒久的、又は持続的に維持管理していく上で、事業目的を達成するには、多大な経費が必要であり、合わせて施設の劣化は年々進むため、維持管理・修繕にも経費が掛かる。下水道接続率の低い地区について、接続の推進を図る必要がある。	・設備機器の計画的な維持管理を実施し、施設の機能を保持できた。 ・包括的民間委託により、適切に管理された。	第3期の包括的民間委託が始まったので、受託業者を適切に管理し、より適正な維持管理ができるように努める。
	40604070		241,160,720	水道部 下水道課				
			10,345,158	杉原 雅彦	極めて高い			
	汚水処理施設維持管理事業		282,095,285		高い			
			268,802,316		高い			
			13,292,969				改善の効果	極めて高い
55	上下水道の整備	農村地域の住環境の整備とともに公共用水域の水質改善を図るため、市内農村地域の生活排水整備を計画的に行う。	556,366,975	事務事業評価		・中山地区の管路工事、処理場工事を進め、早期の供用開始を目指す。 ・田原1期地区(白谷・六連地区)の処理場の設備機器が老朽化しているため、機能強化事業を実施する。	・中山地区の管路、処理場整備を行い、供用開始面積の拡大を図った。 ・田原1期地区(白谷・六連地区)の処理場を機能強化を実施するにあたり、採択申請を行った。	・農業集落排水施設の各処理場の機能強化を図るため、機能強化事業を実施していく。
	40605030		537,038,720	水道部 下水道課				
			19,328,255	杉原 雅彦	極めて高い			
	農業集落排水施設整備事業		310,335,271		極めて高い			
			293,849,920		極めて高い			
			16,485,351				改善の効果	高い
56	上下水道の整備	・排水設備等資金の融資のあっせん及び利子補給を行うことにより、集落排水への接続推進を図る。 ・集落排水への接続で不用となる浄化槽を雨水貯留施設に転用する費用を補助することにより、水資源の有効活用や集落排水の普及促進に寄与する。	341,410	事務事業評価		浄化槽が汚水を処理する施設であることから、洗浄しているとはいえ、そこに貯めた水を使うことに対して施主にとっては抵抗がある。また浄化槽を転用して雨水貯留施設にしたいと考えるほど庭面積が大きくない家庭も多く、新規の申し込みが少ない。	指定工事店に対して、制度について、接続時に制度の紹介をするよう依頼した。	市民へ広報やホームページ等により制度の周知を行い、浄化槽から転用した雨水貯留施設に対する抵抗感の払拭を図る。
	40606020		216,000	水道部 下水道課				
			125,410	杉原 雅彦	普通			
	雨水貯留施設等整備支援事業(集落排水)		159,212		普通			
			58,000		普通			
			101,212				改善の効果	普通

No	施策名	事務事業の目的	H27決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成28年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成29年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	担当部課名				
	事務事業名		内 人件費	評価責任者氏名				
			H28決算額(円)	妥当性評価				
		内 直接事業費	有効性評価					
		内 人件費	効率性評価					
57	上下水道の整備	事業経営の安定化に向け、農業集落排水の接続を推進すること等により財源の確保を図り、農業集落排水事業の適正かつ健全な管理運営を行う。	29,750,465	事務事業評価		分担金や使用料の賦課徴収、排水設備の確認、決算統計、消費税申告等の経常的な業務であり、限られた人員で効率的に実施する必要がある。	集落排水が供用開始された中山地区の市民に通知を送るなどして、接続の推進を図った。また、新規加入者に対し、分担金の一括納付や使用料の口座振替を推奨し、事務量の軽減を図った。	・使用料を定額制から従量制に移行させ、公平かつ適正な収入を確保する。 ・地方公営企業法を適用させ、経営内容を明確化することにより、事業経営の健全性を確保し、経営基盤の強化を図る。
	40606030		12,226,481	水道部 下水道課				
	農業集落排水運営事業		17,523,984	杉原 雅彦				
			59,464,393	高い				
			41,762,261	高い				
	17,702,132	普通			改善の効果	高い		
58	上下水道の整備	農業集落における生活環境の向上や農地及び公共用水域の水質保全を図るため、農業集落排水施設の適正な維持管理を行う。	268,559,090	事務事業評価		・機器等の機能維持のため多大な経費が掛かる。 ・汚泥処理については、地元農地還元が難しい状況下にあるため、処理のあり方等を検討する必要がある。	・維持管理については専門業者に委託し、適切に管理された。 ・汚泥について、公共下水道や尿・浄化槽汚泥と合わせて処理方法について検討した。	・一部の老朽化した処理施設を公共下水道へ切替え、維持管理費の削減を図る。 ・汚泥処理については、処理コストの削減や地元負担の軽減を図る。
	40606040		256,415,963	水道部 下水道課				
	農業集落排水施設維持管理事業		12,143,127	杉原 雅彦				
			278,159,017	極めて高い				
			265,737,604	高い				
	12,421,413	高い			改善の効果	高い		
59	上下水道の整備	生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、未水洗化世帯及び事業所等のし尿の収集を行い、し尿及び浄化槽汚泥の適正な処理を行うとともに施設の適正な維持管理を行う。	74,326,124	事務事業評価		・し尿収集業務は市民生活に不可欠であるため、引き続き円滑に実施していく。 ・施設の老朽化や、し尿等の処理量の減少により安定的な処理が難しい状態となっているため、施設の維持管理及び処理方法を検討する必要がある。	未水洗化世帯の減少により収集世帯等が点在しているが、収集作業を集約し効率化に努めた。また、処理機械・設備等の修繕工事や部品交換等を行い、安定的な処理を行った。	収集世帯の減少と農業等の仮設トイレの増加により点在化が進むことが予想されるが、収集業務の集約化に努める。 公共下水道の汚水と共同処理するため、受入施設等の新築と業務体制の検討を行う。 共同処理開始に伴い、し尿処理施設内のし尿及び浄化槽汚泥の処理、施設の撤去工事等の検討を行う。
	40607010		31,143,491	水道部 下水道課				
	し尿収集処理運営事業		43,182,633	杉原 雅彦				
			62,010,810	極めて高い				
			25,212,434	高い				
	36,798,376	高い			改善の効果	高い		
60	自然環境の保全	市民と協働して地域の里山を保全するとともに、里山の保全に関する知識・技能を習得した人材の育成を図る。	6,027,356	事務事業評価		・「たはら里山の会」による里山保全スキルアップ研修会を毎月開催 ・里山保全活動団体の自立、人材育成が必要である。	スキルアップ研修会の継続開催及び研修内容の充実	「たはら里山の会」の会員減少に歯止めをかけるため、活動時に会のPRし、入会を促す。里山保全活動への支援は継続して行う。
	40701010		1,193,802	都市整備部 街づくり推進課				
	里山保全推進事業		4,833,554	鈴木 洋充				
			1,630,638	高い				
			609,056	高い				
	1,021,582	普通			改善の効果	高い		
61	自然環境の保全	林道は、森林保全整備のために不可欠な道路であるとともに、昨今は地域住民が散策路として利用するなど地域に必要な道路となっている。しかし、山中の道路は破損等が生じやすいため、常に適正で良好な状態を維持することを目的として、整備や補修等を行う。	9,399,367	事務事業評価		林道衣笠線の未舗装部分において、整備を進める必要がある。 舗装済の部分においては、破損箇所の補修を行う必要がある。	林道衣笠線において、事業の進捗を図った。再生アスファルトを使用し、経費の削減を図った。	林道衣笠線の舗装整備は、平成29年度で完了予定。 古い基準で整備された舗装部分を、順次補修していく必要がある。
	40701020		6,510,265	産業振興部 農政課				
	林道整備事業		2,889,102	鈴木 隆広				
			9,547,670	高い				
			6,699,778	高い				
	2,847,892	普通			改善の効果	高い		
62	自然環境の保全	本市の松林は、潮害防備、風害防備等多面的な機能を担っている。この松林を保全するため、松くい虫防除対策として薬剤空中散布及び伐倒駆除を実施するとともに、薬剤樹幹注入を行い松の抵抗性を高めることで保安林の再生や機能維持を図る。	60,941,664	事務事業評価		松くい虫防除対策により、ある程度の効果が認められるが、一定量の被害木が発生しているため、被害拡大を防ぐためには継続して実施する必要がある。	松くい虫防除事業を実施するにあたり、国の補助金を最大限に活用した。 被害木の破碎処理を経済的に実施し、コスト削減に努めた。	国の補助金を最大限に活用し、既存の事業と併せながら、計画的かつ効果的に防除事業を推進する。 被害木を迅速に伐倒処理し、松くい虫による被害の拡大が抑えられるよう努める。
	40701030		54,465,343	産業振興部 農政課				
	森林病虫害防除事業		6,476,321	鈴木 隆広				
			45,035,827	高い				
			40,691,318	高い				
	4,344,509	高い			改善の効果	高い		
63	自然環境の保全	東三河地域の森林は、田原市のみならず豊川流域市町村の大切な財産である。この財産を流域市町全体で保全することを目的として、東三河農林水産事務所管内の森林振興にかかる諸活動(事業、調査、研修等)を行う。また、松くい虫によって枯死した地域の松林を復元するため、抵抗性松を配布する。	81,800,311	事務事業評価		松林の再生に向け、抵抗性松の植樹を実施すると同時に、より効果的な保全管理方法を模索するため、調査研究を実施する必要がある。	地元の協力の元、小学校との連携を図り、抵抗性松の植樹を児童の記念植樹として事業を行った。	地域の要望に応えられるよう抵抗性松の確保に努め、森林の早期復元に努める。 松林の植生調査を実施し、健全な森林環境のより効果的な保全管理方法を調査する。
	40701040		76,811,984	産業振興部 農政課				
	森林整備促進事業		4,988,327	鈴木 隆広				
			5,800,176	高い				
			2,585,652	高い				
	3,214,524	普通			改善の効果	高い		

No	施策名	事務事業の目的	H27決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成28年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成29年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)	
	事務事業コード		内 直接事業費	担当部課名					
	事務事業名		内 人件費	評価責任者氏名					
			H28決算額(円)	妥当性評価					
		内 直接事業費	有効性評価						
		内 人件費	効率性評価						
64	自然環境の保全	動植物の保全を図るため、動植物の保護、育成及び調査を行う。また、生活環境の保全を図るため、特定外来生物を駆除し、その生息範囲の拡大を防止する。	19,158,767	事務事業評価		・アカミガメの保護団体が行う保護・調査活動の支援。 ・田原市アルゼンチンアリ対策協議会への補助金を交付。(補助率10分の10) ・自治会、地域住民、行政が一体となって一斉防除等を実施し、個体数の低減が図られているが、根絶には至っていない。	・協議会によるアルゼンチンアリの一斉防除を実施し、生活環境被害の低減、生息域の拡大抑制等の効果が確認された。また、生息域の拡大抑制等の効果のあったトラストと従来の防除剤(ペイト剤)での防除を行った。	・アカミガメの調査・保護活動に対して継続的支援を行う。 ・現在のアルゼンチンアリの一斉防除方法は、住宅への侵入被害の低減や生息域拡大の抑制については確認されているところ。今後は生息域の分断、根絶のために環境省が策定した防除マニュアルに沿った新たな防除方法の確立を図る。	
	40702010		12,691,927	市民環境部 環境政策課					
	動植物保全対策事業		6,466,840	寺田 昭一					
			15,156,661	高い					
		10,985,899	高い						
		4,170,762	普通						
						改善の効果	高い		
65	緑と景観の保全	市民の緑化への関心を高めるとともに、市民との協働により市内の緑化を推進し、うるおいと活力のあるガーデンシティを目指す。	21,036,509	事務事業評価		・緑化推進委員会を中心とした市民緑花まつり実行委員会が主体となり、市民緑花まつりを開催した。 ・緑化推進委員会による花壇コンクール審査を実施 ・沿道花壇の登録は、増加しているが奨励花壇の登録が減少している。	・市民緑花まつりを5月4日(みどりの日)にサンテパルクたはらで開催(2年目)し、来場者数が8,000人から15,000人に増加した。 ・春、秋の花苗配布を実施した。	・市民緑花まつり実行委員会をイベントの運営主体として組織強化を図る。 ・各校区における奨励花壇管理面積の減少に歯止めをかけるため、新たな管理者の発掘や別手法による花壇管理を模索する。 ・花壇管理作業員を増やして、公共花壇等花壇の充実を図る。	
	40802010		9,617,713	都市整備部 街づくり推進課					
	緑化推進事業		11,418,796	鈴木 洋充					
			18,227,262	高い					
		8,751,593	高い						
		9,475,669	高い						
						改善の効果	高い		
66	緑と景観の保全	緑花センターにおいて奨励花壇、沿道花壇、公共花壇に植える花苗を生産し、うるおいと活力のあるガーデンシティを目指し、花いっぱい運動を展開する。	28,869,409	事務事業評価		・緑化推進、花いっぱい運動の推進拠点として運営体制の改善が必要である。 ・花苗配布をした花壇管理者へのポット鉢及びトレイ返却のさらなる徹底が必要である。	・花苗配布時に返却についての依頼を繰り返したことにより、花苗配布によるポット鉢及びトレイの返却が徹底された。	・育苗に関する専門性を高め、花苗の質の向上、育苗コストの削減に取り組む。	
	40802020		12,187,544	都市整備部 街づくり推進課					
	緑花センター運営事業		16,681,865	鈴木 洋充					
			33,190,763	高い					
		13,666,228	高い						
		19,524,535	普通						
						改善の効果	高い		
67	緑と景観の保全	田原市の将来像である「うるおいと活力のあるガーデンシティ」にふさわしい都市機能の中核をなす運動公園の形成を目指し、市民の余暇活動、スポーツ施設の需要に対するスポーツ、レクリエーション活動の場として整備を図る。	170,036,080	事務事業評価		全体計画面積14.5haのうち多目的グラウンド等暫定利用計画の一部を供用開始したが、将来的に全面供用をする必要がある。	多目的グラウンド、トイレの整備を行うとともに、市民参加による緑の森づくりを行った。	一部供用開始をしたことで、一時整備を中断しているが、将来的には全面供用を目指す。また、市民参加による緑の森づくりを継続して進める。	
	40803010		164,754,061	都市整備部 街づくり推進課					
	中央公園整備事業		5,282,019	鈴木 洋充					
			52,680,948	普通					
		50,806,920	低い						
		1,874,028	低い						
						改善の効果	低い		
68	緑と景観の保全	市民のレクリエーション活動の場の確保、生活環境の保全、都市の安全性の向上及び良好な都市景観の形成などの観点により公園・緑地の整備を図る。	54,185,541	事務事業評価		サーフタウン構想の動向や地域意見を踏まえ、(仮称)弥八島海浜公園について、整備計画を構築する必要がある。	区画整理事業にて創出した浦片2、3、4号公園の整備を行い、供用開始した。 (仮称)弥八島海浜公園の津波対策として避難路の整備を行った。	(仮称)弥八島海浜公園の本格整備について、民間活用の動向を踏まえ、サーフタウン構想の拠点として整備計画を進める。	
	40803020		47,845,333	都市整備部 街づくり推進課					
	公園緑地整備事業		6,340,208	鈴木 洋充					
			13,670,788	高い					
		9,146,307	高い						
		4,524,481	高い						
						改善の効果	高い		
69	緑と景観の保全	太平洋岸総合整備促進事業のモデル事業として、総合計画、表浜自然ふれあいガーデン整備に関する報告書及びええZONEガーデン整備計画に位置つけた拠点の整備促進を図る。また、三河湾国定公園内の豊かな自然の中で快適な野外レクリエーション活動を行える場を提供するとともに都市と農村の交流の場として地域の活性化を図る。	67,330,902	事務事業評価		・公園の主要施設の整備を概ね終え、指定管理者による供用を開始した。 ・残る研修棟や園地の整備を行うとともに、1シーズン供用して顕在化した運用面での課題を順次改善し、運営面での効率性と利用満足度を上げていく必要がある。	多目的ホールの建設、駐車場の整備、案内標識の設置を行った。	研修棟、屋外便所などの施設整備を進め、施設全体のさらなる活用を図る。 管理費を精査し、使用料や指定管理料の見直しを行うとともに、指定管理者による管理運営状況を点検し、管理運営の改善と利用者の増加を図る。	
	40803030		65,514,792	都市整備部 街づくり推進課					
	谷ノ口公園等整備事業		1,816,110	鈴木 洋充					
			75,933,024	高い					
		69,643,565	高い						
		6,289,459	普通						
						改善の効果	高い		
70	緑と景観の保全	滝頭公園の維持管理を委託し、民間の能力を活用することによる管理経費の削減と、利用者が安全で安心して楽しく利用できるように施設管理を行う。	26,042,727	事務事業評価		利用者が安心・安全で楽しく利用できる公園にするための維持管理が必要である。	遊具の修繕を行い、利用者の利便性を図った。	利用者が安心・安全で楽しく利用できる公園を目指し、適正な維持管理を行う。	
	40804010		23,985,231	建設部 維持管理課					
	滝頭公園管理事業		2,057,496	大羽 剛志					
			22,530,846	高い					
		20,558,769	高い						
		1,972,077	普通						
						改善の効果	高い		

No	施策名	事務事業の目的	H27決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成28年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成29年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	担当部課名				
	事務事業名		内 人件費	評価責任者氏名				
			H28決算額(円)	妥当性評価				
		内 直接事業費	有効性評価					
		内 人件費	効率性評価					
71	緑と景観の保全	白谷海浜公園の維持管理を委託し、民間の能力を活用することによる管理経費の削減と、利用者が安全で安心して楽しく利用できるように施設管理を行う。	24,526,441	事務事業評価		利用者が安心・安全で楽しく利用できる公園にするための維持管理が必要である。	老朽化した施設の修繕工事を行い、利用者の利便性を図った。	利用者が安心・安全で楽しく利用できる公園を目指し、適正な維持管理を行う。
	40804020		22,302,121	建設部 維持管理課				
			2,224,320	大羽 剛志				
			23,243,230	高い				
			21,271,153	高い				
		1,972,077	普通			改善の効果	高い	
72	緑と景観の保全	緑が浜公園及び緑が浜2号緑地の維持管理を委託し、民間の能力を活用することによる管理経費の削減と、利用者が安全で安心して楽しく利用できるように施設管理を行う。	15,346,297	事務事業評価		利用者が安心・安全で楽しく利用できる公園にするための維持管理が必要である。	公園内施設の修繕を行い、利用者の利便性を図った。	利用者が安心・安全で楽しく利用できる公園を目指し、適正な維持管理を行う。
	40804030		13,121,977	建設部 維持管理課				
			2,224,320	大羽 剛志				
			11,870,088	高い				
			10,328,575	高い				
		1,541,513	普通			改善の効果	高い	
73	緑と景観の保全	中央公園(一部供用開始された施設)内の樹木管理、除草、排水施設の適正管理を図ることにより、利用者が安全で安心して利用できるように施設管理を行う。	2,403,706	事務事業評価		利用者が安心・安全で楽しく利用できる公園にするための維持管理が必要である。	公園内の除草を定期的に行った結果、利用者が安全で安心して利用することが出来た。	利用者が安心・安全で楽しく利用できる公園を目指し、適正な維持管理を行う。
	40804040		957,898	建設部 維持管理課				
			1,445,808	大羽 剛志				
			1,441,370	高い				
			677,521	高い				
		763,849	普通			改善の効果	普通	
74	緑と景観の保全	公園、緑地、緑道等について、樹木の管理、除草、トイレ清掃等を行い、利用者が安全で安心して利用できる施設管理を行う。	69,325,750	事務事業評価		利用者が安心・安全で楽しく利用できる公園、また景観を損ねない公園、緑地・緑道となるような、維持管理が必要である。	定期的に除草・剪定・消毒を実施するとともに、老朽化した公園施設の維持補修を行った。	利用者が安心・安全で楽しく利用できる公園・緑地・緑道を目指し、適正な維持管理を行うとともに老朽化した公園施設の維持補修を行う。
	40804050		42,976,924	建設部 維持管理課				
			26,348,826	大羽 剛志				
			72,445,357	高い				
			45,557,925	高い				
		26,887,432	普通			改善の効果	高い	
75	緑と景観の保全	愛知県から市に移管された初立池公園は、豊川用水の最終調整池を含む自然豊かな公園であり、市民の余暇活動等の推進を図る施設として、安全で楽しく利用できるよう適正な管理を行う。	28,980,567	事務事業評価		知名度が低い、比較的、来園者数が少ない。しょうぶ園に防草シートの部分が残っている等、景観として未完成である。	本年度からホームページでしょうぶ園の開花状況の随時配信を行い、PRIに努めた。しょうぶ園の擬木や竹柵の整備を進めたこともあり、来園者に好評を博した。	今後も擬木等の整備を進め、景観として完成させる。来園者が少ないため、知名度アップのための施策を実施していく。
	40804060		23,030,511	渥美支所 地域課				
			5,950,056	小久保 順一				
			14,097,666	高い				
			10,472,697	高い				
		3,624,969	普通			改善の効果	普通	
76	緑と景観の保全	臨海緑地の維持管理を委託し、民間の能力を活用することによる管理経費の削減と、利用者が安全で安心して楽しく利用できるように施設管理を行う。	34,668,475	事務事業評価		緑地としての機能を保持するため、継続的な維持管理が必要である。	定期的に緑地内の除草・剪定・消毒を実施した。	公害防止としての緩衝緑地の目的だけでなく、安心・安全で心にゆとりを与えられるような緑地となるように、維持管理を行う。
	40804070		33,000,235	建設部 維持管理課				
			1,668,240	大羽 剛志				
			34,541,748	高い				
			33,000,235	高い				
		1,541,513	普通			改善の効果	普通	
77	緑と景観の保全	公園、緑地、緑道等について、樹木の管理、除草、トイレ清掃等を行い、利用者が安全で安心して利用できる施設管理を行う。	14,576,754	事務事業評価		施設が老朽化しているため、来園者に危険の無いよう適切に維持管理していく必要がある。多くの部分で現場の臨時職員任せになっているため、職員による指導が行き届かず、非効率的部分がある。	臨時職員に対し、例年通りの作業だけではなく、何年も行ってこなかった場所の作業を積極的に行うよう指示した。臨時職員への指導に当たらせるため、嘱託員1名を平成29年度の予算に計上した。	現場の体制を強化し、効率的な維持管理を行う。施設の老朽化状況を把握し、適切な維持管理を行う。
	40804080		2,361,450	渥美支所 地域課				
			12,215,304	小久保 順一				
			13,063,051	高い				
			2,998,589	高い				
		10,064,462	普通			改善の効果	普通	

No	施策名	事務事業の目的	H27決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成28年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成29年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3～5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	担当部課名				
	事務事業名		内 人件費	評価責任者氏名				
			H28決算額(円)	妥当性評価				
		内 直接事業費	有効性評価					
		内 人件費	効率性評価					
78	緑と景観の保全	児童に身近で安全な遊びの場を提供し、健康の増進や豊かな情操を養うとともに、乳幼児を持つ保護者相互の交流の場づくり(孤立化防止)として、児童遊園の適正な維持管理を行う。	2,607,896	事務事業評価		安全第一の観点により危険度の高い遊具から優先的に修繕、撤去を実施するとともに、地域との協働による地域管理委託を継続して管理コストの抑制に努める。	経年劣化した高松児童遊園のフェンスを撤去新設、危険度の高い遊具の修繕等、遊園利用における児童の安全確保を図ることができた。	安全第一の観点により危険度の高い遊具から優先的に修繕、撤去を実施するとともに、撤去により児童遊園として必要となる新規遊具の設置を検討する。
	40804090		1,899,982	健康福祉部 子育て支援課				
	児童遊園管理事業		707,914	千賀 達郎				
			3,439,351	普通				
			1,439,642	普通				
		1,999,709	普通					
							改善の効果	普通